

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2011-506752(P2011-506752A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-539634(P2010-539634)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

C 0 8 L 91/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/16 (2006.01)

C 0 8 J 3/03 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/04 Z B P

B 0 1 J 13/00 A

C 0 8 L 91/00

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 101/16

C 0 8 J 3/03 C F D

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリマーと植物油に基づく組成物であって：

ポリラクチド・ホモポリマー；

上記ポリラクチド・ホモポリマー内に分散された植物油；及び

上記ポリラクチド・ホモポリマー内の植物油の分散を補助するために構成されたブロックコポリマーを含んでなり、ここで該ブロックコポリマーが約 70 体積%以下のポリラクチドを含んでなるポリイソブレン - ポリラクチド・ブロックコポリマーである、組成物。

【請求項 2】

前記ポリラクチド・ホモポリマーが、ポリ（L - ラクチド）、その立体異性体、又はこれらの組み合わせを含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記植物油が、大豆油を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ブロックコポリマーが、ポリ（イソブレン - b - ラクチド）を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ブロックコポリマーが、実質的に対称な界面活性剤である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ブロックコポリマーが、前記組成物の約 0.1 重量% ~ 約 5 重量%を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記植物油が、前記組成物の約 5 重量% ~ 約 20 重量%を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ポリラクチドが、前記組成物の約 70 重量% ~ 約 90 重量%を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記植物油が、ポリラクチドマトリックス中に液滴として分散されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記ポリラクチド・ホモポリマーがポリ(L-ラクチド)を含んでなり、前記植物油が大豆油を含んでなり、そして前記ブロックコポリマーがポリ(イソブレン-b-ラクチド)を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

ポリマーと植物油に基づく組成物であって：

植物油；

ポリラクチド・ホモポリマーであって、ここで該ポリラクチドの少なくとも一部が、上記植物油内に分散されている、ポリラクチド・ホモポリマー；及び

約 70 体積%以下のポリラクチドを含むポリイソブレン-ポリラクチド・ブロックコポリマーであって、ここで該ブロックコポリマーは上記植物油内の分散を安定化するために構成されている、ブロックコポリマー、  
を含んでなる、組成物。

【請求項 12】

前記ポリラクチド・ホモポリマーが、ポリ(L-ラクチド)、その立体異性体、又はこれらの組み合わせを含んでなる、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記植物油が、大豆油を含んでなる、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記ブロックコポリマーが、ポリ(イソブレン-b-ラクチド)を含んでなる、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 15】

ポリマーと植物油に基づくエマルションにおける相を反転するための方法であって：

混合容器中に、ポリラクチド・ホモポリマー組成物、植物油組成物、及びブロックコポリマーを提供する工程；

ポリラクチド・ホモポリマー、植物油、及びポリイソブレン-ポリラクチド・ブロックコポリマーを混合し、該ポリラクチド・ホモポリマー内に分散される植物油を含む第 1 エマルションを産生する工程；及び

上記ポリイソブレン-ポリラクチド・ブロックコポリマー内のポリラクチドの体積分率を約 70%以下に低下させ、第 2 エマルションを産生する工程、  
を含んでなり、ここで上記ポリラクチド・ホモポリマーが植物油内に分散されることを特徴とする、方法。

【請求項 16】

前記ポリラクチド・ホモポリマーが、ポリ(L-ラクチド)、その立体異性体、又はこれらの組み合わせを含んでなる、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記ブロックコポリマーが、植物油の添加の前に、粉末として混合容器に注入される、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 18】

前記植物油が、液滴として添加される、請求項 1 5 に記載の方法。